



浦山 憲一さんからのメッセージ



1 近況

入隊して7年、3等陸曹に昇任し1年が経過しました。最近は自分の仕事にますます磨きがかかり、また、幅広く仕事をさせてもらえるようになりました。その反面、今までよりそれに伴う責任がより一層重くなりましたが、やりがいと充実で満ち溢れた毎日を過ごしています。

2 入隊・入校して感じたこと

多くの人たちと出会うことが出来、様々な経験ができた事です。19歳で入隊し、新隊員教育隊、通信教育、自動車教習、陸曹教育隊、レンジャー訓練等数えきれないほど訓練を経験しました。陸上自衛隊でしか味わう事の出来ない訓練が自分自身を強くし成長させてくれました。

また、これまでに会った上司、同期、後輩はかけがえのない私の宝物です。

3 母校の後輩たちへ

私は9年前就職活動をしていましたが、まさか自分が陸上自衛隊に入隊するとは思ってもおらず、興味本位で入隊しましたが、ここまで続けてこられたのは間違いなく助けてくれた仲間がいたからです。自衛隊に入隊すると苦楽を共にしてきたからこそできる仲間がいます。もし進路に迷っている方がいれば私のメッセージをぜひ参考にしてみてください。



プロフィール

出身校 : 大野高等学校

入隊区分 : 一般曹候補生(陸)

入隊年度 : 平成25年度



奥 和昌さんからのメッセージ



1 近況

高校を卒業し離れてから、あっという間に25年余りが経ちました。福井には毎年、帰省して両親や幼馴染と楽しい時間を過ごしています。

今は、愛知県豊川市にある陸上自衛隊第6施設群の群長として勤務しています。平成30年の福井県北部豪雪で除雪にあった鯖江駐屯地の第372施設中隊は第6施設群に属しています。生まれ育った故郷に恩返しができる、すごく良かったと思います。

2 入隊・入校して感じたこと

2002年に東ティモール、05年にイラク、12年に南スーダンの国際平和協力活動に参加しました。また、アフリカや東南アジア諸国の陸軍の能力向上のための訓練にも参加しました。東日本大震災の時は、日米共同のトモダチ作戦に参加しました。

いろんな経験をすることができたし、どれもやりがいの大きい仕事でした。それぞれの仕事をする中で、多くの人と出会い、その仲間は生涯の友人です。

3 母校の後輩たちへ

自分が高校生の頃、自衛官になってどうなるかは、見当もつきませんでした。防衛大学校に入り、土木工学を専攻し、その後、国際貢献や災害派遣の現場でエンジニアとしてキャリアを積むことができました。

今は、約20年の自衛隊勤務を振り返り、自衛官になって良かったと思っています。自衛隊は入隊後も希望次第で選択できる道がいくつもあります。最近では、宇宙やサイバー領域の第一線で活躍できる機会が自衛隊にはあります。自衛隊での勤務には、自分の力で新しい道を切り開く楽しみがあります。



プロフィール

出身校：高志高等学校

入隊区分：防衛大学校

入隊年度：平成10年度



佐竹 良介さんからのメッセージ



1 近況

季節が変わり、徐々に気温も上がり、暑い日が続くようになりました。涼しい場所で日々過ごしたい気持ちもありますが、訓練は基本的に野外で行われます。夏の暑い中でも活躍できる体力は必要なので、空いた時間等を活用し、体力錬成を行っています。日差しが強い中のランニングや筋トレは正直辛く感じることもありますが、必要な体力を養うため、錬成を続けていきます。

2 入隊・入校して感じたこと

仕事場の環境がとても良いと感じています。衣食住があり、生活に困ることはありません。必要な装備は支給されますし、毎日栄養価が高く美味しい食事を三食食べることができます。また、私は寮で生活しており、仲間と楽しい日々を送っています。

衣食住があることより、やりたいことに集中して取り組むことが出来るため、この環境にとっても感謝しています。

3 母校の後輩たちへ

自衛官と聞くと様々なイメージがあると思います。しかし自衛官と言っても多様な職種があります。そのためイメージ通りの仕事もあれば、イメージと違う仕事もあります。

陸、海、空だけではなくさらに細かく仕事が分かれています。それを知るだけでも、将来やりたい仕事が決まっている人もそうでない人も仕事の選択肢が増えると思います。

多くの後輩が自衛官を選択し、将来活躍してくれると嬉しいです。



プロフィール

出身校：美方高等学校

入隊区分：一般曹候補生（陸）

入隊年度：平成24年度



中道 孝貴さんからのメッセージ



1 近況

私は現在、会計隊員として勤務しています。仕事の内容としては、隊員の食事に必要な食材を調達したり、毎月の給料を計算したりしています。責任は重いですがその分やりがいが大きく、毎日充実しています。

2 入隊・入校して感じたこと

いろいろな場所へ行ける事です。入隊するまでは私は北陸から出たことがほとんどありませんでしたが、入隊したことで数か月ですが関西や東京で過ごすことができ、見分を広げることができました。

3 母校の後輩たちへ

入隊した当初は慣れない生活や厳しい訓練で大変だと思います。しかし同期と一緒に乗り越えることで自らの成長に繋がります。多くの後輩が入隊し、自衛官として活躍してくれることを願っています。



プロフィール

出身校 : 大野高等学校

入隊区分 : 自衛官候補生 (陸)

入隊年度 : 平成28年度



三上 翼さんからのメッセージ



1 近況

私は、補給中隊で燃料する仕事をしており、毎日楽しく、時には厳しい訓練や任務に励んでいます。

また、陸曹になるために、日々勉強をしています。

昨年の西日本豪雨に伴う災害派遣に参加した時には、被災者の方々から感謝の言葉を頂いたことが、とても嬉しかったです。

2 入隊・入校して感じたこと

入隊前は人見知りなところがあり、知らない人とあまり親しくなれませんでした。入隊して多くの隊員と出会い、今では自分から積極的に話しかけられるようになり、人として成長することができた事がよかったです。

3 母校の後輩たちへ

私は、高校の友達と一緒に自衛隊に入隊しました。

入隊して最初の頃は、体力もなく大変でしたが、同期と一緒に体力錬成をしたおかげで体力もつき、今では入隊して良かったと思います。

もし就職で迷っている人は、一度自衛隊の話聞いてみて下さい。



プロフィール

出身校：武生高等学校

入隊区分：自衛官候補生（陸）

入隊年度：平成27年度



八木 俊輔さんからのメッセージ



1 近況

入隊して8年目になり、年々求められる仕事の質が高まり量が増えていることから、上司や同僚の支えを受け、日々精進している最中です。

また、現在けん引免許取得のため自動車教習所へ入所しています。

最近の出来事としては、英語の課程教育に入校しました。

米軍との共同訓練や国際貢献等でも活躍できる隊員になれるよう引き続き自学研鑽しています。

2 入隊・入校して感じたこと

私は入隊し、共同生活を送ることで協調性と助け合いの精神が身につきました。また、体力作りが仕事でできます。（鍛えて怒られることはありません。）更に、給料は安定しており福利厚生もしっかりしているため将来への計画的な貯蓄も出来ます。

自衛隊生活の中では、有名な方の講話を受講する機会があったり、空手の達人、日本トップクラスのエンジニア等すごい特技・身体能力を持った隊員に出会えることもあります。

3 母校の後輩たちへ

自衛官は、災害派遣や国際貢献活動等、様々な任務があり、大変で自由が制限される場合もあります。それでも入隊して良かったと思える事の方が多かったのです。私はこの仕事を続けています。

自衛隊の良い所、大変な所等しっかり確認して、自分のやりたいことを含め総合的に考えて悔いのない選択を！！



プロフィール

出身校：北陸高等学校
日本福祉大学

入隊区分：一般曹候補生（陸）

入隊年度：平成25年度



山内 友宏さんからのメッセージ



1 近況

衛生科隊員として勤務しています。印象に残っているのは、後方支援連隊勤務中の災害派遣です。複数回参加しましたが、任務終了時に被災者が大変なのに「自衛隊ありがとう」と手書きメッセージで見送ってくれた事です。国民のために貢献でき自衛隊に入って良かったと感じています。現在は、駐屯地にいる隊員の健康管理を維持する手助け等をして、今までの経験を活かし日々の業務等に精進しています。

2 入隊・入校して感じたこと

生活・訓練等で大変な時もありますが、支え合える仲間そして上司は一生の宝物（財産）になります。支援等で入隊時・入校時の同期または上司に合えた時の嬉しさは何とも言えません。訓練等が終わった時や教育終了後の自己の技能・知識の向上に達成感を感じています。

3 母校の後輩たちへ

入隊当初は慣れない環境・団体生活に戸惑いますが、仲間とともに訓練を乗り越えていく事は良い事です。自立できる環境でもあり、同期の絆も高まります。国防のために責任と誇りを持って働けるのは自衛隊だけです。一人でも多く入隊し、良き自衛官として活躍してくれることを願っています。一緒に頑張りましょう。



プロフィール

出身校 : 福井高等学校
福井工業大学

入隊区分 : 2等陸士

入隊年度 : 平成14年度



吉本 まゆさんからのメッセージ



1 近況

私は、福井で試験を受けて北海道で勤務をしています。私の勤務している所は、部隊に必要な物品等を準備したり保管していたり、壊れた物品等を整備して部隊に返すなどを行っています。私は部隊に必要な物品等の保管等の業務を入隊時から主に行っています。3曹に昇任してからは、教育部隊で新隊員の班長（R5.3～R5.7）として自衛官としての基本的な事を教えたり、福井地方協力本部では、自衛官の募集案内や広報活動等を臨時勤務（R5.9～R5.10）として行っていました。

2 入隊・入校して感じたこと

私が入隊して感じたことは時間と規則が民間企業と違ってとても厳しいところです。時間に関しては、一分一秒を守らなければ自分や仲間・家族等の命が危険にさらされてしまう任務があるからです。規則も同様ですがそれだけでなく、自衛隊本来の任務にも影響が出てしまうことがあるからです。その為、時間や規則を守れるように皆で話し合いを行うことが自然と増えていくので、5分前行動が身に付くようになります。これが、私が入隊して感じたことです。

3 母校のみなさんへ

自衛隊は厳しいと感じたり、危険な任務にさらされていると思われがちだと思います。実際、災害派遣やPKO派遣などテレビで報道されている危険な任務にも参加しなければいけない時もあります。ですが、それ以外にもたくさんの仕事が自衛隊にはあります。自衛隊でしか出来ない仕事や特殊な資格を取得することも出来ます。もし少しでも興味があるなら自衛隊の試験を受けてみて欲しいと思います。ここでしか手に入らないものがきっと出来ます。



プロフィール

出身校：三国高等学校

入隊区分：自衛官候補生（陸）

入隊年度：平成29年度

所属：北海道補給処

駐屯地：島松
（北海道恵庭市）